

平成22年度  
事業報告書

自 平成22年12月 1日

至 平成23年 3月31日

公益財団法人神奈川県労働福祉協会

# 目 次

はじめに-----	1
<事業活動報告>	
I 日雇労働者、ホームレス等に対する就労等の支援事業 -----	3
1 日雇労働者等に対する無料の職業紹介事業 -----	3
2 日雇労働者等に対する技能講習事業 -----	4
3 ホームレス等に対する就業支援事業 -----	4
4 日雇労働者に対する年末福祉金給付事業 -----	4
II 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業 -----	5
1 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業	
III 労働関係情報の提供 -----	5
1 かながわ労働プラザ労働情報コーナーの運営事業 -----	5
2 労働情報総合ポータルサイトの運営事業 -----	5
IV 保育園における保育事業 -----	6
1 ことぶき保育園における保育事業 -----	6
2 東門前保育園における保育事業 -----	6
3 川崎市大師保育園における保育事業 -----	7
V 神奈川県立かながわ労働プラザの管理運営事業 -----	8
VI 川崎市生活文化会館(てくのかわさき)の管理運営事業 -----	9
○ 資 料 -----	11

## は じ め に

平成20年秋のリーマンショックで大きく落ち込んだ景気は、翌年半ば頃から緩やかな回復局面に入ってきましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で東北地方を中心に、多くの企業が生産活動の停滞に陥り、経営環境は厳しさを増しております。

平成23年3月の完全失業率は4.6%と前月と同じでありましたが、被害を受けた岩手県等3県は除いてあるため、雇用情勢はこの数字以上になるものと見られております。

また、平成23年4月1日現在の今春卒業した大学生の就職率は、91.1%と就職氷河期といわれた平成12年と並び、過去最低となっております。

こうした中で、当協会の行う労働福祉や就労支援のための事業はますます重要となっておりますが、事業を安定的にかつ継続的に実施していくためには、経営の健全化や将来にわたる財源確保等財政基盤の確立が喫緊の課題となっております。

このような状況を踏まえつつ、当協会は平成22年12月1日、公益財団法人の設立登記を行い、新しい定款のもとに公益目的事業である日雇労働者等への就業支援や保育事業等に取り組むとともに、収益事業である労働福祉施設の適切な運営を行ったところであります。

### I 日雇労働者、ホームレス等に対する就労等の支援事業（公益目的事業1）

日雇労働者やホームレスの常用雇用の推進、住居喪失不安定就労者への就業を支援する事業に積極的に取り組みました。

### II 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業（公益目的事業2）

中高年齢者や女性を対象に、自治体等と連携した研修事業を展開いたしました。

### III 労働関係情報の提供（公益目的事業3）

労働に関する図書・資料等の提供に加えて、新聞資料を分野毎に整理・配架し、また、労働関係情報をインターネット上で検索できるポータルサイトの運用を継続し、その充実に努めました。

更に、かながわ労働プラザ1階の交流広場を「かながわ情報広場」として、国・県等の労働関係情報を一元的に収集・配架し、労働情報の発信の拠点性を高めました。

### IV 保育園における保育事業（公益目的事業4）

東門前保育園において、定員を上回る児童の受入れ待機児童の解消に取り組み、ことぶき保育園ではプールや園庭開放等地域貢献事業に積極的に取り組みました。

また、指定管理施設である川崎市大師保育園においては、産休明け保育など特徴ある事業に取り組むとともに、地域貢献事業にも積極的に取り組みました。

### V 神奈川県立かながわ労働プラザの管理運営事業（収益事業1）

神奈川県から指定管理者の指定を受けた神奈川県立かながわ労働プラザにおいて、労働者や県民への活動・交流の場の提供や職業支援・文化教養等の講座の開催を実施いたしました。

## VI 川崎市生活文化会館(てくのかわさき)の管理運営事業(収益事業2)

川崎市から指定管理者の指定を受けた川崎市生活文化会館において、労働者や市民への活動・交流の場の提供や技能・技術、文化教養等の講座の開催を実施いたしました。

## <事業活動報告>

### I 日雇労働者、ホームレス等に対する就労等の支援事業

#### 1 日雇労働者等に対する無料の職業紹介事業

寿労働センター無料職業紹介所において、横浜市中区寿町及び周辺地区の日雇労働者を対象に、無料で日雇、有期及び常用雇用の職業紹介事業を実施するとともに、求人開拓や事業所登録の推進、求人・求職相談を行いました。

##### ア 求職者の年齢構成

平成 22 年 10 月現在の求職者年齢構成では、全体に占める 50 歳代の割合が 39.4%と前年より 10%減少しているものの、60 歳以上が 8%増の 39.4%になるなど高年齢化が進んでおります。

また、ミドル層といわれる 30 歳から 49 歳までの求職者数が、対前年比 2.4%増と増加傾向にあります。

##### イ 職業紹介業務取扱状況

長引く不況による求人の減少を食い止めるべく、日雇労働者の雇用の可能性のある事業所への求人開拓を強化したところ、日雇求人延数で 2,678 人と対前年度同期比で 126 人の増となりました。

一方、有期求人では、延数で 5,705 人と対前年同期比 169 人減となりました。

また、日雇・有期の紹介就労数は、7,069 人で対前年同期比 776 人の減となりました。

なお、常用求人に関しては、確保した求人に対して求職者が極端に少ないことから、同じ職種への求人開拓を控え、他の職種への求人開拓を広げた結果、628 人で対前年同期比 217 人の増となりました。

また、常用求人への紹介、就職数については、求職者の希望する職種によってハローワークの求人情報提供や求職指導等を行った結果、当所での紹介数は、27 人で対前年同期比 9 人の減となり、就職数も、18 人で対前年同期比 11 人の減となりました。

##### ウ 事業所登録状況

求職者の雇用を確保するため、引き続き神奈川労働局や県内の公共職業安定所等と連携を図るとともに、求人に関するあらゆる情報源から蓄積したデータベースを活用し、建設土木関連の業種に関わらず日雇派遣やパート労働者を必要としている港湾関連の事業所や、製造、運輸、産業廃棄物、福祉関連など様々な業種の事業所へも登録勧奨を行い、新規登録事業所数は 17 社であり、対前年同期比 6 社の増となりました。

なお、登録抹消事業所数は、景気の低迷により 4 社と対前年同期比で 28 社の減となりました。

##### エ 求人開拓の実施状況

新規登録事業所や既登録事業所からの求人を確保するため、求職者の希望によるピンポイントの訪問・電話等による求人の掘り起しなど、継続して取り組みましたが、3,462 件と対前年同期比 44 件の減となりました。

#### オ 相談業務取扱状況

労働者からの相談のうち職業の相談では、求人情報の提供や職業相談等 7,161 件と、対前年同期比 367 件の増となりました。

しかし、その他の相談では、金銭相談、生活・健康相談等 487 件で、対前年同期比 716 件の減となりました。

また、事業所からの相談等も 151 件で、対前年同期比 62 件の減となりました。

### 2 日雇労働者等に対する技能講習事業

厚生労働省からの委託を受け、日雇労働者、ホームレス、住居喪失不安定就労者及び無料低額宿泊所入居者に対し、無料で技能労働者として必要な技能を修得するための技能講習を実施しました。

実施期間を指定した期間指定講習では、19 科目を実施し、79 人で対前年同期比 74 人の減となりました。

また、常設の講習では、通所と宿泊合わせて 13 人で対前年同期比 4 人の減となりました。

なお、ビルクリーニング等講習終了時に関連企業参加による合同面接会を実施しました。

### 3 ホームレス等に対する就業支援事業

神奈川県ホームレス就業支援協議会からの委託を受け、ホームレス自立支援施設入所者と住居喪失不安定就労者の就業支援を行うため、寿労働センターの横浜相談室、川崎相談室及びかながわ住居喪失不安定就労者サポートセンター（かながわチャレンジネット）相談室において就業支援相談を実施しました。

ホームレスの就業支援では、横浜と川崎を合わせて相談件数が 516 件で対前年同期比 372 件の減となり、就業者数は 30 人で対前年同期比 35 人の減となりました。

一方、かながわチャレンジネット相談室では、就労や生活・住居等の相談が中心となるケースが多く、相談件数では、就労相談及び住居相談が 32 件と 9 件でそれぞれ 20 件以上の減となっているものの、生活相談では、68 件と対前年同期比 24 件の増となっています。

なお、就労相談における就職件数は、4 件で対前年同期比 3 件増となりました。

### 4 日雇労働者に対する年末福祉金給付事業

寿町地区に居住し、日雇労働により生計を維持している労働者に対し、福利厚生対策の一環として、県及び横浜市の共同措置による年末福祉金を支給致しました。

平成 22 年度の支給額は、一人あたり 31,600 円で支給総数 945 人、対前年度比では 401 人の減となりました。

## Ⅱ 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業

### 1 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業

就業能力の向上、雇用の促進を図るため、女性を対象として「就職準備ガイダンス」及び「仕事に活かすカラーセミナー」を各4回、各市及び各市の男女共同参画センターとの共催事業として開催しました。

## Ⅲ 労働関係情報の提供事業

### 1 かながわ労働プラザ労働情報コーナーの運営事業

労働に関する図書・資料等を収集し、労働をめぐる様々な情報を提供するほか、図書資料の検索などに応えるレファレンスサービスを行いました。

また、社会的な話題等に関するタイムリーな情報を提供できる特集コーナーを設置し、新聞切り抜き等による分野別の関係記事、特に就活に関する記事を、クリッピング掲示やスクラップブックにより見やすいように整理しました。

なお、入館者数は4,976人であり、対前年度同期比286人の減となりました。

一方、1階交流広場にて国・県・市町村及び労働関係団体に係るパンフレット・ポスター等の労働関係情報や地域情報、周辺の類似団体の文化・観光施設資料を配架提供いたしました。

### 2 労働情報総合ポータルサイトの運営事業

気軽に様々な労働情報を調べられる労働情報の総合的な窓口としての労働情報ポータルサイトで、県内の労働に関する人材・施設・事業等の情報を提供したところ、2,303件のアクセスがありました。

なお、就職情報など最新の情報を提供するため、「ニートサポートネット」など、新規リンク先の開発にも取り組みました。

## IV 保育園における保育事業

### 1 ことぶき保育園における保育事業

中国を中心に、フィリピン、タイなど、外国籍の児童が多いことから、語学に堪能な職員を配置し、また在日期間の長い保護者のご協力をいただきながら、円滑な保育に努めました。

また、障害児1名（ダウン症）を受入れました。

新型インフルエンザへの対応として、当園のインフルエンザ対応行動計画に基づく予防措置に取り組みました。

なお、ノロウイルス対策等についても、最新の情報を的確に収集し未然防止を心がけるなど、適切に対処しました。

#### ア 入所児童の状況

入所児童数は延べ240人であり、月平均入所児童数では、対前年同期比1.5人少なくなっており、0歳児については月平均で0.5人の減となりました。1歳児から5歳児までは、それぞれ増減はあるものの1.0名の減となりました。

外国人児童の受入れ比率は、全児童数の61.7%であり、特に、中国が一番多く37人中24人を占め、次いでフィリピン8名、タイ3名、ベトナム・ペルー各1人となっています。

#### イ 外国籍児童への対応

近隣の中華街等で働く外国籍の保護者のニーズに応え、中国語、英語、タガログ語の会話の出来る職員を継続して配置いたしました。

#### ウ 地域子育て支援事業

地域交流及び地域への施設開放等を実施しました。

##### ○ 交流保育・地域への施設開放

毎週火・木曜日に保育所の保育室、遊戯室及び園庭等の施設を、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する場として提供し、子育ての不安や悩みの解消及び地域の育児力の向上を図りました。

##### ○ 地域交流

寿地区自治会及び(財)寿町勤労者福祉協会などが主催する「クリスマスツリー点灯式」「ことぶき作品展」「節分」などのほか、「中区保育園駅伝大会」等のイベントに参加し、地域との交流を行いました。

### 2 東門前保育園における保育事業

入所児童による小学校での授業見学と参加、小学校児童による保育学習等を実施するなど、保育園・小学校との連携（幼・保・小連携の一環）に努めました。

また、新型インフルエンザ対策では、当園のインフルエンザ対応行動計画に基づいた予防措置に取り組んだほか、ノロウイルス対策についても、情報を的確に収集し未然防止を心がけるなど、これまでの事例に基づいた知識・経験等を生かして適切に対処しました。

#### ア 入所児童の状況

待機児童解消を図るため入所児童定員の弾力的運用を図り、平成 22 年 12 月から平成 23 年 3 月末までの間の入所児童数は延べ 280 人（月平均 70 人）であり、各月とも定員を 10 人超えて児童を受け入れました。

また、積極的に障害児保育を実施するため、延べ 16 人（月平均 4 名）の障害児を受け入れました。

#### イ 地域活動事業

世代間交流事業、郷土文化伝承事業など、地域との交流を積極的に実施してまいりましたが、今年度は、インフルエンザ（新型・従来型）やノロウイルスが流行したため、施設開放や異年齢児交流事業については、休止しました。

##### ○ 世代間交流事業

地域のお年寄り等を招待し、季節的行事等（もちつき大会等）を通じて、児童との交流親睦を図りました。

##### ○ 郷土文化伝承活動

1 月のもちつき大会では、市場囃子保存会と保育士によるお囃子の演奏等を見せて聞かせることで、園児の情操教育や地域の伝承文化に対する興味を広げる取り組みを行いました。

#### ウ 年末特例保育

年末保育を 12 月 29 日から 31 日まで実施し、延べ 3 名の利用がありました。

### 3 川崎市大師保育園における保育事業

平成 22 年 4 月 1 日から、新たに指定管理施設として当協会が管理運営を開始し、事業の円滑化を図るため、保護者・行政・指定管理者による三者会議の実施により、園児への影響及び保護者との信頼関係の構築などの確な対応に努めました。

新型インフルエンザへの対応としては、当園のインフルエンザ対応行動計画に基づき、適切に対応いたしました。

#### ア 入所児童の状況

定員 130 人の入所児童定員に対し、月平均 130 人と定員数の児童を受け入れ、延べ 520 人の児童を受け入れました。

なお、当園の特徴として、生後 43 日を経過した乳児を受け入れる産休明け保育を実施しました。

#### イ 地域活動事業

子育て家庭における保護者の子育て負担や不安・孤立感などが深まっていることから、当園の保育にかかる知識・経験・技術を活かし、地域活動事業を積極的に展開いたしました。

##### ○ 園庭開放

地域の同年齢の子どもと園庭の遊具で一緒に遊ぶこと、また、来園した親同士の交流を図ることを目的に実施いたしました。

##### ○ 絵本の貸出し

在園児、地域に対して絵本の貸出しを行いました。

○ 体験保育

地域在宅の児童を、各年齢1人、1ヶ月単位で同じ年齢のクラスに入って遊ぶ体験保育を実施しました。

○ にこにこぱーく（地域の異年齢児との交流事業）

地域在宅の児童を、年齢にあったクラス（保育室）に入ってもらい、保育園の子ども達といっしょに遊ぶことを実施しました。

○ 郷土文化伝承活動

親子で、もちつき・獅子舞の鑑賞等、日本の伝承文化に触れ楽しんでもらうことを実施しました。

ウ 相談・助言事業

園庭開放や体験保育に来園される保護者に、保育園における乳幼児の保育・子育てに関する相談・助言を実施しました

## V 神奈川県立かながわ労働プラザの管理運営事業

労働者をはじめ県民の方々に、各種大会・研修・会議・サークル活動等の場を提供し、労働者の福祉の向上を図りました。

ア 利用状況

施設の利用状況は、10,663件95,863人の利用があり、対前年比は、震災の影響もあり384件、11,694人の減となりました。

イ 講座の開催

今年度は、新規事業として「アロマテラピー1日体験」や「囲碁入門講座」のほか、みなと横浜の歴史を学ぶ「横浜いまむかし講座」や、「華麗に彩る女性たち」と題した源氏物語講座などを開催し、5講座、受講人員延388人となりました。

ウ 地域との交流

第5回プラザフェスタにおいて、特別講演「坂本龍馬といろは丸事件」映画「ねこタクシー」の上映、「体験」をテーマに「ものづくり体験教室」、「健康づくり体験」、「スポーツ吹矢」等各種体験教室などを実施し、地域住民との交流を図りました。

来場者は、1,253人で昨年度比135人の減となりました。

エ 利用者ニーズの把握

利用者の満足度や要望、職員の対応等について、会議室等及び労働情報コーナーの利用者を対象に利用者満足度調査を実施し、予約システムや設備・備品等の改善、蔵書や新着資料の検索にインターネットを利用できる環境の整備とDVDやビデオといった視聴覚教材の更新、充

実等の要望等についての意見が多数寄せられました。

なお、これらの利用者の意見・要望への対応や満足度を評価していただくため、「かながわ労働プラザ運営委員会」を3月に開催しました。

また、講座の企画に反映させるため、各種講座終了時に受講者全員にアンケート調査を実施しました。

#### オ 広報活動

かながわ労働プラザをより一層ご利用いただけるよう、ホームページ上において各施設や各種事業のご案内はもとより、利用者がよりわかりやすい地図への変更など、随時更新を行い、多くの県民の皆様にも、目に留まるようにいたしました。

なお、3月発行予定の「プラザ通信」は、震災の影響等で、次年度に発行となりました。

#### カ 労働情報の提供（再掲）

労働に関する図書・資料等を収集し、様々な情報を提供したほか、新聞資料のクリッピング掲示（就活情報、生活情報）や、スクラップブックに整理した情報の提供、その時々テーマに沿った特集コーナーの充実も併せて実施いたしました。

#### キ 施設整備

備品の更新としてランニングマシンの購入をはじめ、和室の畳替え等を実施しました。

## VI 川崎市生活文化会館（てくのかわさき）の管理運営事業

技能職者相互の交流及び市民の方々に、学習、交流活動等の場の提供や技能等の講座を開催いたしました。

#### ア 利用状況

施設の利用状況は、1,785件56,499人の利用があり、対前年比は、震災の影響もあり75件の減、3,064人の減となりました。

#### イ 講座の開催

親子で食育について学ぶ「親子で楽しく食育料理教室」のほか、地元川崎の歴史について学ぶ「地名塾 多摩川と川崎」等5講座を開催しました。

なお、受講者数は延361人となりました。

#### ウ 地域との交流

技能職者との交流、クラブ・サークル等の発表会、「エコロジー」をテーマとしたものづくり体験等を中心として「てくのまつり」を開催し、地域住民との交流を図りました

来場者は、2,850人で、昨年度比791人の増となりました。

## エ 利用者ニーズの把握

利用者アンケート調査は、施設等に対する利用者の重要度や満足度について、より具体的にかつ簡便に回答できるようアンケート項目等を変更し、3月に実施し、協力者には粗品（メモ帳）を進呈しました。

アンケート調査や「利用者の声」（ご意見箱）では、依然として施設の構造上の問題点や施設整備等に対する意見が多く寄せられました。

アンケートの結果や「利用者の声」については、回答を添えて館内に掲示いたしました。

更に、講座の企画に反映させるため、各種講座終了時に受講者全員にアンケート調査を実施しました。

これらの調査等で得られた利用者の意見・要望や満足度の評価ならびに「利用者の声」への対応を論議していただくため、「川崎市生活文化会館利用者懇談会」を3月に開催しました。

## オ 施設整備等

てくのホールの椅子の更新、工作室の照明をLED照明への全面改修を実施し、利用者サービスの向上に努めました。

## カ 広報活動

利用者と地域とのふれあい・交流を深めるために「てくのだより」を12月(8号)、3月(9号)の2回5,000部発行し、川崎市技能職団体連絡協議会、公共機関等に配布したほか、館内に配架いたしました。

また、川崎市生活文化会館における各種自主事業のお知らせや報告、「技能フェスティバル」や「てくのまつり」等のイベント情報、「てくのだより」発刊のお知らせ等、即時的な情報を中心とした「平成☆てくのブログ」をインターネットを通じて広い範囲に、25回発信いたしました。

# 平成22年度

# 資 料

自 平成22年12月 1日

至 平成23年 3月31日

I	財団の運営	1
1	沿革	1
2	会議	2
II	組織及び役職員の状況	5
1	組織	5
2	役職員の状況	5
III	事業の概要	6
1	労働者の就労支援	7
2	労働情報の提供	13
3	勤労家庭への保育環境の提供	14
4	勤労者の活動・交流の場の提供	19

## I 財団の運営

### 1 沿革

昭和 32. 12. 1	県庁内に「神奈川県日雇労働者福利厚生協会」設立
33. 12. 26	協会の名称を「神奈川県労働福祉協会」に変更
35. 10. 24	「財団法人神奈川県労働福祉協会」設立
35. 12. 1	「東門前保育園」開設
40. 4. 1	「ことぶき保育園」開設
46. 12. 1	「なかがわ荘」開設 運営を受託
49. 10. 7	「寿町事務所」(現寿労働センター) 開設
49. 12. 1	「日雇労働者年末福祉金」給付開始
50. 5. 7	協会事務所を県住宅供給公社ビル6階に移転
52. 8. 22	「サンライフ横浜」開設 運営を受託
57. 1. 1	寿町事務所の名称を 「横浜日雇労働センター無料職業紹介所」に改称
57. 2. 24	東門前保育園 園舎新築完成
57. 7. 22	「中小企業労働研修センター」開設 運営を受託
57. 10. 27	協会事務所を中小企業共済会館4階に移転
57. 12. 12	「サンライフ川崎」開設 運営を受託
58. 8. 23	サンライフ川崎に体育館併設 運営を受託
60. 4. 1	「勤労会館」の運営を受託 協会事務所を勤労会館に移転
平成 1. 4. 1	横浜日雇労働センター無料職業紹介所の名称を 「寿労働センター無料職業紹介所」に改称
2. 4. 1	なかがわ荘の名称を「ハイツ&ヴィラなかがわ」と改称
2. 10. 24	財団設立30周年記念式典を開催(於:勤労会館)
4. 10. 31	勤労会館閉館
4. 11. 16	協会事務所を神奈川県山下分庁舎北側分室に移転
7. 9. 23	協会事務所をかながわ労働プラザ7階に移転
7. 10. 1	神奈川県立かながわ労働プラザ開設(公の施設の運営を受託)
13. 7. 1	厚生労働省より「日雇労働者等技能講習事業」受託
15. 12. 21	サンライフ横浜閉館
17. 8. 3	「神奈川県ホームレス就業支援協議会」設立
17. 8. 29	神奈川県ホームレス就業支援協議会が厚生労働省より 受託した「ホームレス就業支援事業」の一部を受託
18. 3. 31	ハイツ&ヴィラなかがわ、中小企業労働研修センター、 サンライフ川崎の3施設閉館
18. 4. 1	指定管理者として、「かながわ労働プラザ」及び「川崎市 生活文化会館」の運営開始 新たな労働福祉事業として、「労働教育・研修事業」、「労 働運動史編纂事業」、「労働情報提供サービス事業」を開始
21. 6. 15	ホームレス就業支援事業として、住居喪失不安定就労者に対し、「かながわ チャレンジネット」を開設し、就業支援相談・生活相談を開始
21. 10. 1	「川崎市大師保育園備室」を設置し、川崎市との共同保育を開始
22. 4. 1	指定管理者として「川崎市大師保育園」の運営開始
22. 12. 1	公益財団法人へ移行

## 2 会議の開催

平成 22 年度実施

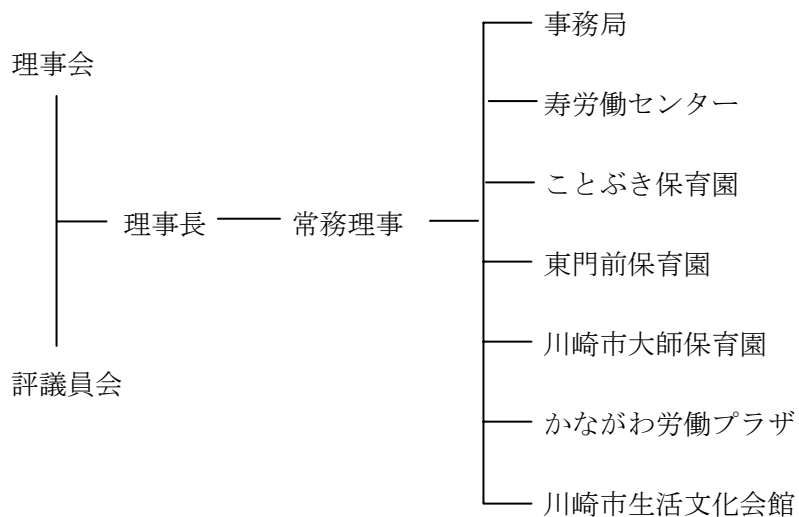
区 分	開 催 日	内 容 (審議事項等)
理 事 会	平成 22 年 12 月 9 日 (木)	<b>【決議事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 22 年度事業計画書及び収支予算書について</li> <li>・ 諸規程の制定について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 寄附金取扱規程</li> <li>(2) 特定費用準備資金等取扱規程</li> <li>(3) 資金運用規程</li> <li>(4) 理事会運営規程</li> <li>(5) 公益法人への移行に伴う関係規程の一部改正等に関する規程</li> </ol> </li> <li>・ 専決処分の承認を求めることについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員給与規程の一部改正について</li> </ol> </li> <li>・ 平成 22 年度第 1 回評議員会の日時、場所及び目的である事項等について</li> <li>・ 外部理事・監事との損害賠償責任限定契約の締結について</li> </ul>
	平成 23 年 2 月 9 日 (水)	<b>【決議事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特例財団法人における平成 22 年度事業報告及び決算等について</li> <li>・ 川崎市大師保育園における特定費用準備資金の設定について</li> <li>・ 平成 22 年度第 2 回評議員会の日時、場所及び目的である事項等について</li> </ul> <b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特例財団法人における平成 22 年度監事監査報告について</li> <li>・ 監事監査規程の制定について</li> </ul>
	平成 23 年 3 月 16 日 (水)	<b>【決議事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 22 年度補正予算について</li> <li>・ 視覚障害者技能習得援助資金貸付事業の実施について</li> <li>・ 平成 23 年度事業計画書及び収支予算書について</li> <li>・ 視覚障害者技能習得援助資金貸付規程の制定</li> <li>・ 規程の制定及び一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 組織及び職の設置等に関する規程の一部改正</li> <li>(2) 職員給与規程の一部改正</li> <li>(3) 職員退職手当支給規程の一部改正</li> </ol> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変更認定申請案について</li> <li>・ 重要な使用人の選任について</li> <li>・ 平成22年度第3回評議員会の日時、場所及び目的である事項等について</li> </ul>
評 議 員 会	平成22年 12月21日(火)	<p><b>【決議事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議長の選出について</li> <li>・ 議事録署名人の選出について</li> <li>・ 新たな評議員の選任について</li> <li>・ 役員の報酬等について</li> <li>・ 諸規程の制定について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 倫理規程</li> <li>(2) 評議員会運営規程</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度第1回理事会の決議内容について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成22年度事業計画書及び収支予算書</li> <li>(2) 諸規程の制定について</li> <li>(3) 専決処分について</li> </ul> </li> <li>・ 外部理事及び外部監事との損害賠償責任限定契約の締結について</li> </ul>
	平成23年 2月25日(金)	<p><b>【決議事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議長の選出について</li> <li>・ 議事録署名人の選出について</li> <li>・ 特例財団法人における平成22年度決算報告について</li> <li>・ 新たな監事の選任について</li> </ul> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特例財団法人における平成22年度事業報告について</li> <li>・ 特例財団法人における平成22年度監事監査報告について</li> <li>・ 川崎市大師保育園における特定費用準備資金の設定について</li> <li>・ 監事監査規程の制定について</li> </ul>
	平成23年 3月25日(金)	<p><b>【決議事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議長の選任について</li> <li>・ 議事録署名人の選出について</li> <li>・ 定款の一部変更について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について</li> <li>・ 役員の報酬等について</li> <li>・ 新たな理事の選任について</li> </ul> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度第3回理事会の決議内容について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成22年度補正予算について</li> <li>(2) 平成23年度事業計画書及び収支予算書について</li> <li>(3) 諸規程の一部改正について</li> <li>(4) 重要な使用人の選任について</li> <li>(5) 視覚障害者技能習得援助資金貸付事業の実施について</li> <li>(6) 視覚障害者技能習得援助資金貸付規程の制定について</li> <li>(7) 変更認定申請案について</li> </ul> </li> </ul>
--	--	---

## II 組織及び役職員の状況

### 1 組織



### 2 役職員の状況

平成 23 年 3 月 31 日現在

	役員		常勤職員	非常勤職員	計
	理事長	常務理事			
役員	1	2			3
事務局			5		5
寿労働センター			11	13	24
ことぶき保育園			10	9	19
東門前保育園			11	15	26
川崎市大師保育園			22	16	38
かながわ労働プラザ			3	18	21
川崎市生活文化会館			2	13	15
合計	1	2	64	84	151

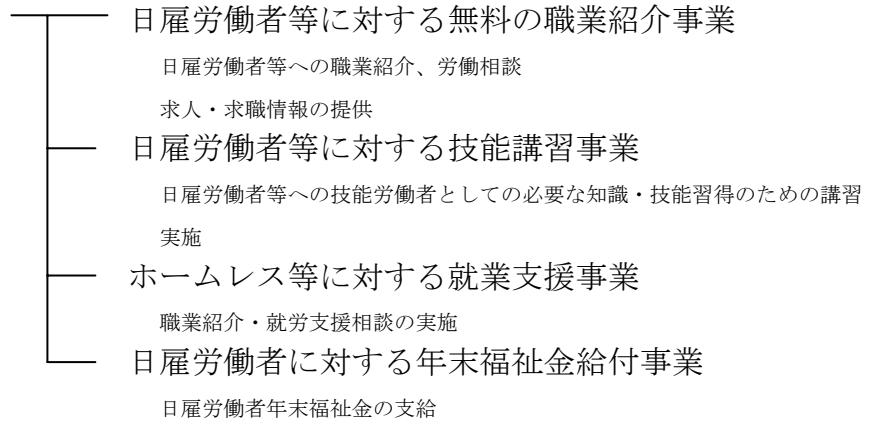
\* 常務理事 2 名のうち 1 名は事務局常勤職員と兼務（役員に計上）

### III 事業の概要

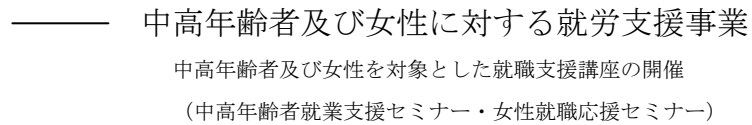
#### ○平成 22 年度主要事業体系図

##### ■ 労働福祉の充実や雇用の安定をめざして

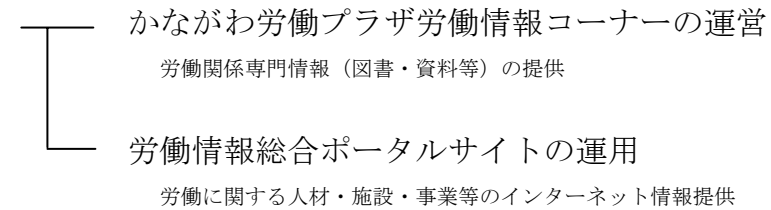
○日雇労働者、  
ホームレス等に  
対する就労等の  
支援事業



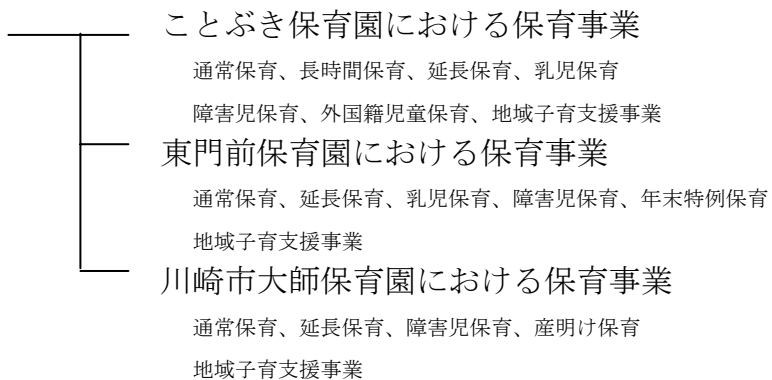
○中高年齢者及び  
女性に対する  
就労支援事業



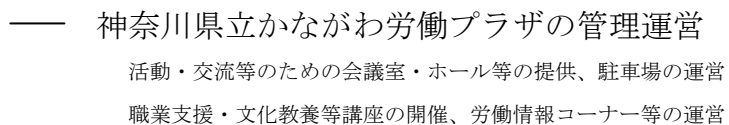
○労働関係情報の  
提供事業



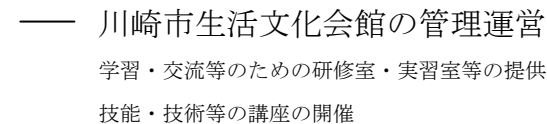
○保育園における  
保育事業



○神奈川県立かながわ  
労働プラザの管理運  
営事業



○川崎市生活文化会館の  
管理運営事業

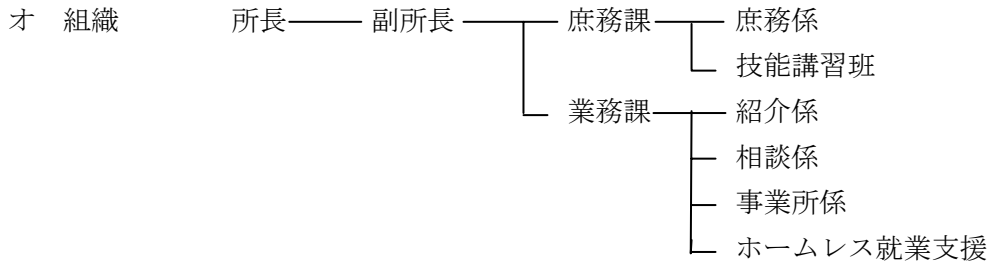


## 1 労働者の就労支援

### (1) 日雇労働者に対する無料の職業紹介事業

- ア 設置目的 横浜市中区寿町及び周辺地区の日雇労働者を対象に、厚生労働大臣から許可を受け、無料の職業紹介事業を実施することにより、雇用の安定と就労経路の正常化、青空労働市場の解消及び労働条件の改善を図る。
- イ 所在地 横浜市中区寿町 4-14（寿町総合労働福祉会館内）
- ウ 開設 昭和 49 年 10 月 7 日
- エ 施設の内容

1 階の一部	求人・求職受付事務室、寄場等	161.73 m <sup>2</sup>
中 2 階	事務室、職業相談室、会議室	256.89 m <sup>2</sup>
中 3 階の一部	会議室等	65.12 m <sup>2</sup>
		483.74 m <sup>2</sup>
計		県有分 (45.5%)
		横浜市分 (54.5%)
		220.098 m <sup>2</sup>
		263.642 m <sup>2</sup>



### カ 求職者の年齢構成

(毎年 10 月調べ)

区 分		20 年度	21 年度	22 年度
29 歳以下	人 数	12 人	35 人	30 人
	構成比	0.5%	1.9%	1.5%
30 歳～39 歳	人 数	95 人	69 人	100 人
	構成比	4.0%	3.8%	5.1%
40 歳～49 歳	人 数	332 人	246 人	287 人
	構成比	14.0%	13.5%	14.6%
50 歳～59 歳	人 数	1,255 人	901 人	774 人
	構成比	53.0%	49.4%	39.4%
60 歳以上	人 数	675 人	573 人	774 人
	構成比	28.5%	31.4%	39.4%
合 計	人 数	2,369 人	1,824 人	1,965 人
平均年齢		56.7 歳	57.2 歳	57.6 歳

キ 事業所登録状況

区 分		21 年度	22 年度 (4. 1～11. 30)	22 年度 (12. 1～3. 31)	22 年度 (通年)
新規登録事業所数		45(11)社	22社	17社	39社
登録抹消事業所数		84(32)社	22社	4社	26社
年度末有効登録事業所数		922社	922社	13社	935社
産業別内	建設業	710社	699社	2社	701社
	製造業	19社	19社	1社	20社
	運輸業	31社	31社	0社	31社
	サービス業・その他	162社	173社	10社	183社

\* 21年度（ ）内数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

ク 求人開拓実施状況

区 分		21 年度	22 年度 (4. 1～11. 30)	22 年度 (12. 1～3. 31)	22 年度 (通年)	
職安・関係機関訪問連絡等		3,044件 (991)	2,592件	1,143件	3,735件	
求人開拓	訪 問	登録勧奨	1,197件 (349)	1,380件	304件	1,684件
		利用勧奨	707件 (223)	401件	189件	590件
		宿舍調査	1件 (1)	1件	0件	1件
		計	1,905件 (573)	1,782件	493件	2,275件
	電 話	登録勧奨	2,664件 (945)	1,872件	830件	2,702件
		利用勧奨	4,872件 (1,768)	3,117件	2,029件	5,146件
		計	7,536件 (2,713)	4,989件	2,859件	7,848件
	文 書	登録勧奨	2,519件 (202)	1,644件	91件	1,735件
		利用勧奨	491件 (18)	35件	19件	54件
		計	3,010件 (220)	1,679件	110件	1,789件
	合 計		12,451件 (3,506)	8,450件	3,462件	11,912件
	開拓 求人 数	日 雇	総求人数	7,479人 (2,552)	4,600人	2,678人
開拓求人数			6,400人 (2,482)	4,127人	2,390人	6,517人
開拓求人割合			85.6% (97.3)	89.7%	89.2%	89.5%
有 期		総求人数	16,275人 (5,874)	10,121人	5,705人	15,826人
		開拓求人数	11,383人 (2,998)	2,715人	360人	3,075人
		開拓求人割合	69.9% (51.0)	26.8%	6.3%	19.4%
常 用		総求人数	1,334人 (411)	747人	628人	1,375人
		開拓求人数	692人 (278)	277人	375人	652人
		開拓求人割合	51.94% (67.6)	37.1%	59.7%	47.4%

\* 21年度（ ）内数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

ケ 職業紹介業務取扱状況

区 分		21年度	22年度 (4.1~11.30)	22年度 (12.1~3.31)	22年度 (通年)
日 雇	求人件数	2,333件 (831)	1,480件	879件	2,359件
	求人延数	7,479人 (2,552)	4,600人	2,678人	7,278人
	紹介就労数	7,418人 (2,520)	4,492人	2,594人	7,086人
	未充足数	61人 (32)	108人	84人	192人
有 期	求人件数	355件 (176)	303件	223件	526件
	求人延数	16,275人 (5,874)	10,121人	5,705人	15,826人
	紹介就労数	13,642人 (5,325)	9,296人	4,475人	13,771人
	取消求人数	2,633人 (549)	825人	1,230人	2,055人
常 用	求人件数	286件 (86)	191件	134件	325件
	求人数	1,334人 (411)	747人	628人	1,375人
	紹介数	132人 (36)	78人	27人	105人
	就職数	87人 (29)	48人	18人	66人

\* 21年度 ( ) 内数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

コ 相談業務取扱状況

区 分		21年度	22年度 (4.1~11.30)	22年度 (12.1~3.31)	22年度 (通年)	
労働者からの相談	職業相談	求人情報の提供	20,074件 (5,269)	13,325件	5,857件	19,182件
		職業相談	3,493件 (1,036)	2,770件	871件	3,641件
		求職カードの作成	112件 (15)	33件	23件	56件
		金相談	113件 (33)	57件	21件	78件
		雇用保 相談	226件 (71)	79件	29件	108件
		健康保 相談	84件 (20)	23件	7件	30件
		雇用保 加入 指導	297件 (95)	191件	94件	285件
		健康保 加入 指導	500件 (197)	250件	152件	402件
		労災保 相談	1件 (1)	0件	0件	0件
		その他労働相談 ( 情等)	326件 (57)	354件	107件	461件
	計	25,226件 (6,794)	17,082件	7,161件	24,243件	
	その他の相談	金銭相談	61件 (24)	27件	11件	38件
		生活・健康相談	65件 (20)	59件	6件	65件
つ きの対 応		1,072件 (439)	487件	132件	619件	

		電話番号案内	518件 (213)	264件	85件	349件
		その他案内、 件	1,383件 (507)	543件	253件	796件
		計	3,099件 (1,203)	1,380件	487件	1,867件
合 計			28,325件 (7,997)	18,462件	7,648件	26,110件
事業所からの相談	事業所関係等	金相談	201件 (95)	71件	34件	105件
		雇用保 相談	203件 (80)	65件	32件	97件
		健康保 相談	56件 (17)	10件	1件	11件
		労災相談	0件 (0)	0件	0件	0件
		その他の相談	134件 (20)	118件	23件	141件
		関係機関の紹介等	115件 (1)	140件	61件	201件
合 計			709件 (213)	404件	151件	555件

\* 21年度 ( ) 内数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

## (2) 日雇労働者等に対する技能講習事業

区 分	21年度	22年度 (4.1～11.30)	22年度 (12.1～3.31)	22年度 (通年)
期間指定受講者	50科目・385人 (20) (153)	36科目・212人	19科目・79人	55科目・291人
常設講習受講者	27科目・65人 (1) (17)	25科目・40人	9科目・13人	34科目・53人
合 計	77科目・450人 (21) (170)	61科目・252人	28科目・92人	89科目・344人

\* 21年度 ( ) 内数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

### ○期間指定 集

( .22.12.1～.23.3.31)

講 習 科 目	教 習 施 設	講 習 期 間	集 人 数	応 人 数	受 講 者 数
アーク 接	キャタピラー	12.10～12.12	10	2	2
不整地運 車	キャタピラー	12.7～12.8	10	2	2
フ ークリフト	キャタピラー	12.13～12.17	10	3	3
ビルクリーニング	建物管理ネット	12.13～12.17	10	10	7
ガス 接	キャタピラー	12.18～12.19	10	3	3
職長教育	キャタピラー	1.13～1.14	10	5	5
フ ークリフト	キャタピラー	1.17～1.21	10	3	3
備業 任者講習	備業協会	1.19～1.27	10	0	0
機	キャタピラー	1.22	10	3	3
チェーン ー	キャタピラー	2.7～2.8	10	5	4
車 建機・整地掘	キャタピラー	2.12～2.17	10	5	5
車 建機・解体	キャタピラー	2.26	10	4	4

・木造解体作業指 者	キャタピラー	2 9~2 10	10	7	7
フ ークリフト	キャタピラー	2 21~2 25	10	9	7
ショベルローダ	キャタピラー	2 22~2 25	10	0	0
け	キャタピラー	3 2~3 4	10	8	7
フ ークリフト再	キャタピラー	3 9~3 11	5	6	6
フ ークリフト	キャタピラー	3 14~3 18	10	7	7
ウインチ	キャタピラー	3 24~3 25	10	6	4
合 計			185	88	79

○ 常設分

講 習 科 目	教 習 施 設	集 人 数	応 人 数 ( 側 : 12~3) ( 側 : 通年)	受講者数 ( 側 : 12~3) ( 側 : 通年)
ガス 接	コマツ	5	2 2	2 2
アーク 接	コマツ	5	2 3	2 3
フ ークリフト	コマツ	10	1 3	1 3
け	コマツ	5	4 5	4 5
小型移動式クレーン	コマツ	5	3 3	2 2
高所作業車	コマツ	5	2 2	2 2
車 建設機 ・整地	コマツ	5	2 4	2 4
車 建設機 ・解体	コマツ	3	1 2	1 2
ショベルローダ	コマツ	5	1 1	1 1
上操作式クレーン	コマツ	5	2 2	1 1
不整地運 車	コマツ	5	0 0	0 0
締 め用機	コマツ	5	1 2	0 1
チェーン ー	コマツ	5	0 0	0 0
研	コマツ	10	0 0	0 0
機	コマツ	10	1 1	1 1
動工具	コマツ	10	0 0	0 0
作業主任者	キャタピラー	5	0 0	0 0
クレーン運転士 許	コマツ	2	1 2	1 2
大 特 自動車 許	ドライビングカレッジ	10	5 8	5 8
大型自動車第1種 許	ドライビングカレッジ	5	5 6	5 6
通自動車第1種 許	ドライビングカレッジ	8	5 5	5 5
通自動車第2種 許	自動車学校	10	1 1	1 1
ホーム ルバー2	ニック	5	1 2	1 1
パ コン	ダイエックス	5	3 3	3 3
業体験	日本 業実 学園	2	0 0	0 0
合 計		150	43 57	40 53

### (3) ホームレス等に対する就業支援事業

区 分		21 年度	22 年度 (4. 1～11. 30)	22 年度 (12. 1～3. 31)	22 年度 (通年)	
就業 支援 相談	横浜相談室	事業登録者	157 人 (41)	120 人	27 人	147 人
		相談件数	1, 481 件 (396)	1, 144 件	414 件	1, 558 件
	川崎相談室	事業登録者	266 人 (56)	140 人	11 人	151 人
		相談件数	1, 597 件 (492)	783 件	102 件	885 件
就業者数	横浜相談室	116 人 (36)	88 人	23 人	111 人	
	川崎相談室	101 人 (29)	34 人	7 人	41 人	
	計	217 人 (65)	122 人	30 人	152 人	

\* 21 年度 ( ) 内数字は、平成 21 年 12 月～平成 22 年 3 月末までの実 数

○かながわ住居喪失不安定就労者相談室 (かながわチャレンジネット)

区 分		21 年度	22 年度 (4. 1～ 11. 30)	22 年度 (12. 1～3. 31)	22 年度 (通年)	
就業 支援 相談	相 談 者 数	162(96) 人	220 人	65 人	285 人	
	就労相談	相談件数	93(56) 件	68 件	32 件	100 件
		紹介件数	4(1) 件	3 件	3 件	6 件
		就職件数	3(1) 件	5 件	4 件	9 件
	生 活 相 談	94(44) 件	281 件	68 件	349 件	
	住居相談	相談件数	65(31) 件	62 件	9 件	71 件
		貸付件数	4(3) 件	0 件	0 件	9 件
相談件数(就労・生活・住居)		252(231) 件	411 件	109 件	520 件	
無料法 相談		8(8) 件	34 件	14 件	48 件	

・ 就職件数は、当所の求人以外での就職が まれるため、紹介件数を上回っています。

\* 21 年度 ( ) 内数字は、平成 21 年 12 月～平成 22 年 3 月末までの実 数

### (4) 日雇労働者に対する年末福祉金給付事業

横浜市内に居住し、横浜公共職業安定所横浜港労働出 所に求職登録している日雇労働者に  
年末年始期の生活を支援し、もって勤労意 の向上を図るため、年末福祉金 31, 600 円を  
平成 22 年 12 月及び平成 23 年 1 月に給付しました。

○年末福祉金の支給

区 分	20 年度	21 年度	22 年度
支給対象者数	2, 401 人	2, 091 人	1, 324 人
支給人員	1, 721 人	1, 346 人	945 人
支給率	71. 7%	64. 4%	71. 4%
支給金額(一人あたり)	31, 600 円	31, 600 円	31, 600 円
支給総額	54, 383, 600 円	42, 533, 600 円	29, 862, 000 円

支給日・支給人員：1 日目(平成 22 年 12 月 22 日)753 人・2 日目(平成 23 年 1 月 7 日)192 人

(5) 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業

平成 22 年度労働教育・研修事業実施状況

( .22.12.1～ .23.3.31)

対象	講座名	開催地域・開催日	受講者数
女 性	就職応援セミナー 就職準備ガイダンス 仕事に活かすカラーセミナー	野市 1 19 前・1回 1 26 前・1回	22 人 (延 39 人)
	就職応援セミナー 就職準備ガイダンス 仕事に活かすカラーセミナー	相 市 2 7 前・1回 2 21 前・1回	19 人 (延 37 人)
	就職応援セミナー 就職準備ガイダンス 仕事に活かすカラーセミナー	横浜市 ( 区) 2 10 前・1回 2 17 前・1回	28 人 (延 55 人)
	就職応援セミナー 就職準備ガイダンス 仕事に活かすカラーセミナー	小 市 3 3 前・1回 3 10 前・1回	25 人 (延 45 人)
合 計			104 人 (延 176 人)

2 労働情報の提供

(1) 労働情報コーナーの運営

業務取扱状況

	21 年度	22 年度 (4.1～11.30)	22 年度 (12.1～3.31)	22 年度 (通年)
入館者数	16,604 人 (5,262)	12,089 人	4,976 人	17,065 人
貸出カード登録者数	201 人 (61)	123 人	41 人	164 人
貸出件数	1,384 件 (443)	1,134 件	479 件	1613 件
貸出 数 (ビデオ 含む)	2,524 (780)	1,972	895	2,867
レファレンスサービス件数	194 件 (50)	163 件	46 件	209 件
配布資料 数	571 (133)	484	113	597
一時貸出人数	288 人 (100)	209 人	102 人	311 人

\* 21 年度 ( ) 内数字は、平成 21 年 12 月～平成 22 年 3 月末までの実 数

(2) 労働情報総合ポータルサイトの運営

アクセス状況（ヒット数）

4 月	5 月	6 月	7 月	
551 件	294 件	586 件	576 件	
8 月	9 月	10 月	11 月	合 計
479 件	489 件	568 件	586 件	4,129 件
1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計
537 件	611 件	598 件	557 件	2,303 件

3 勤労家庭への保育環境の提供

(1) ことぶき保育園の運営

ア 設置目的 就労家庭の乳幼児や一人親などのため保育を必要とする乳幼児を受け入れて、適切な保育を行うことによって、その親たちの働きやすい環境をつくり、福祉の増進に寄与する。

イ 所在地 横浜市中区寿町 3-12-1

ウ 開設 昭和 40 年 4 月 1 日

エ 地面積 721.45 m<sup>2</sup>（横浜市から無償貸付）

オ 建物 園舎 コンクリート造 4階建の1階部分  
 ・休 室 造 メッキ 2階建て  
 プレイルーム 造 メッキ 平

カ 施設の内容

1 階部分	園舎（保育室・調理室・事務室他）	284.28 m <sup>2</sup>
1 2 階建	1 階、2 階休 室	20.68 m <sup>2</sup>
1 平	プレイルーム	16.85 m <sup>2</sup>
計		321.81 m <sup>2</sup>

キ 組織 園長——保育長——主任保育士——  
 保育士  
 養士  
 調理員  
 保育士助手  
 業務員

ク 入所児童定員 60名（乳児15名 幼児45名）

ケ 保育時間

- ・通常保育 月～金 8:30～16:30  
土曜日 8:30～12:30
- ・長時間保育 月～金 7:30～8:30・16:30～18:30  
土曜日 7:30～8:30・12:30～17:00
- ・延長保育 月～金 18:30～19:00

コ 入所児童の状況

（単位：人）

年齢別	21年度		22年度 (4.1～11.30)		22年度 (12.1～3.31)		22年度 (通年)	
	年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均
0歳児	67	5.6	28	3.5	22	5.5	50	4.2
	24	6.0						
1歳児	111	9.3	72(6)	9(0.8)	40(4)	10(1)	112(10)	9.3(0.8)
	36	9.0						
2歳児	122	10.1	79	9.9	40	10	119	9.9
	42	10.5						
3歳児	122	10.1	87	10.9	44	11	131	10.9
	41	10.3						
4歳児	162	13.5	86	10.8	38	9.5	124	10.3
	55	13.8						
5歳児	129(12)	10.8(1.0)	110	13.8	56	14	166	13.8
	48(4)	12.0(1.0)						
合計 (平均)	713(12)	59.4(1.0)	462(6)	57.8(0.8)	240(4)	60.0(1)	702(10)	58.5(0.8)
	246(4)	61.5(1.0)						

\* ( ) は障害児で内数

\*21年度の下 の数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

サ 外国籍児童の状況

（各年度4月現在）

国籍	20年度 (人)	21年度 (人)	22年度 (人)
日本	7	6	
中国	24	21	24
国	3	1	
フィリピン	3	6	8
タイ	3	1	3
ベトナム			1
ペルー			1
合計	40	35	37

日本国籍を有する児童であっても、 のいずれかが外国籍の場合は外国籍児童となる。

シ 地域子育て支援事業

( .22.12.1～ .23.3.31)

実施項目	実施年月日	対 象	実施内容	参加人員
地域交流	12月6日	地域住民・寿福祉センター保育所の園児	・クリスマスツリー点灯式	寿福祉センター保育所園児・保護者2歳児～年長児参加 50人
	1月27日	中区保育園	・中区保育園駅伝大会	
世代間交流	1月14日	大師保育園24名、東門前70名、市場雛子保存会6名	・つき	ことぶき年長児 14名、
	2月17日	小学生	・小学校見学	ことぶき年長児 14名、

(2) 東門前保育園の運営

ア 設置目的 地域勤労家庭の保育に ける乳幼児を かり適切な保育を行うことにより、働く親たちの勤労意 の向上を図り、福祉の増進並びに生活の安定に寄与する。

イ 所在地 川崎市川崎区東門前 1-8-2

ウ 開設 昭和 35 年 12 月 1 日（昭和 57 年 2 月 24 日現園舎に全面改築）

エ 地面積 662.15 m<sup>2</sup>（川崎市から無償貸付）

オ 建物 コンクリート造 2階建 1

カ 施設の内容

1階	園舎（保育室・調理室・事務室他）	273.609 m <sup>2</sup>
2階	保育室	180.457 m <sup>2</sup>
計		454.066 m <sup>2</sup>

キ 組織

```

    園長——保育長——主任保育士——
    |
    |——保育士
    |——養士
    |——調理員
    |——保育士助手
    |——業務員
    
```

ク 入所児童定員 60名（乳児15名 幼児45名）

ケ 保育時間・事業

・通常保育 月～土 7:00～18:00

・延長保育 月～土 18:00～19:00

・年末特例保育(12.29.30.31) 8:30～18:00 平成14年度より実施

・幼児完全給食 平成16年度より実施

・学童保育 平成17年度より～平成19年度

・地域活動事業等 世代間交流・異年齢児交流・保育所体験・郷土文化伝承

コ 入所児童の状況

(単位：人)

年齢別	21年度		22年度 (4.1~11.30)		22年度 (12.1~3.31)		22年度 (通年)	
	年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均
0歳児	72	6.0	48	6.0	24	6.0	72	6.0
	24	6.0						
1歳児	72(12)	6.0(1.0)	64	8.0	32	8.0	96	8.0
	24(4)	6.0(1.0)						
2歳児	167(12)	13.9(1.0)	77	9.6	40(4)	10.0(1)	117(12)	9.8(1)
	56(4)	14.0(1.0)						
3歳児	150(12)	12.5(1.0)	128	16.0	64(4)	16.0(1)	192(12)	16.0(1)
	52(4)	13.0(1.0)						
4歳児	185	15.4	120	15.0	60(8)	15.0(2)	180(24)	15.0(2)
	60	15.0						
5歳児	183(12)	15.3(1.0)	120	15.0	60	15.0	180	15.0
	55(4)	13.8(1.0)						
合計 (平均)	829(48)	69.1(4.0)	557	69.6	280	70.0(4)	837(48)	69.8(4)
	271(16)	67.8(4.0)						

\* ( ) は障害児で内数、平成22年4月～11月末までの障害児は認定前のため計上せず

\*21年度の下 の数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

サ 地域活動事業

( .22.12.1～ .23.3.31)

実施項目	実施年月日	対 象	実施内容	参加人員
世代間交流	12月18日	地域居住者及び 未就学児童等	・もちつき大会	130人
郷土文化伝 承事業	1月21日	入所児童 地域住民	・もちつき大会でのお囃子演 奏・獅子舞	140人

\*今年度は、インフルエンザ・ノロウィルスの流行により、施設開放・交流は休止しました。

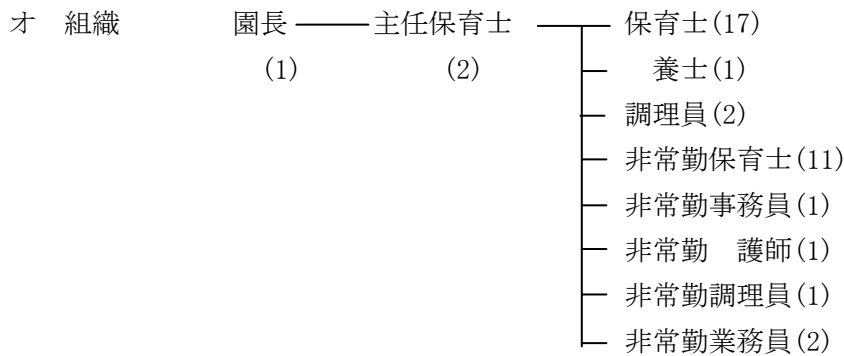
(2) 川崎市大師保育園の運営

ア 所在地 川崎市川崎区出来野 1-17

イ 構造規 コンクリート造 2階建 836.84 m<sup>2</sup>

ウ 開設 昭和26年7月1日

エ 保育目的 平成22年度4月からの指定管理者主体による運営開始後も円滑に園運営を行うため、事務及び実務の引き継ぎ その他必要な引継ぎ業務を行、移行による在園児への影響及び保護者との信頼関係の構築等に努める。



カ 開園日及び開所時間

○ 開園日

月曜から土曜（国民の 日に関する法 に規定する休日を除く）  
ただし、12/29 から 1/3 は休園

○ 開所時間

前 7 時から 後 8 時まで

- ・ 通常保育： 前 7 時から 後 6 時まで
- ・ 延長保育： 後 6 時から 後 8 時まで

キ 年齢別児童定員

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
21 年度	12	16	20	24	24	24	120
22 年度	12	20	24	25	24	25	130

\* 0 歳児に産明け児 含む

ク 入所児童の状況

(単位：人)

年 齢	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	合 計	月(平均)
0歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	96	12.0
1歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	160	20.0
2歳児	24	24	23	24	24	24	24	24	191	23.9
3歳児	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	200(8)	25.0
4歳児	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	192(8)	24.0
5歳児	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	24(1)	199(8)	24.9
合計	130(3)	130(3)	129(3)	130(3)	130(3)	130(3)	130(3)	129(3)	1,038(24)	129.8

\* ( ) 内数字は障害児童数

年 齢	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月(平均)	22 年度	月(平均)
0歳児	12	12	12	12	48	12.0	144	12.0
1歳児	20	20	20	20	80	20.0	240	20.0
2歳児	24	24	24	24	96	24.0	287	23.9
3歳児	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	100(4)	25.0	300(12)	25.0
4歳児	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	96(4)	24.0	288(12)	24.0
5歳児	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	100(4)	25.0	299(12)	24.9
合計	130(3)	130(3)	130(3)	130(3)	520(12)	130.0	1,558(36)	129.8

\* ( ) 内数字は障害児童数

ケ 地域活動事業

( .22.12.1～ .23.3.31)

実施項目	実施年月日	対 象	実施内容	参加人員
園庭開放	12月～3月 月～金曜日 9:30～14:00	地域未就学在 宅親子 地域児童施設 通園児	・同年齢の子どもと関わりながら遊ぶ ・園庭の遊具で遊ぶ ・安全な遊び場の提供 ・来園した親同士の交流を図る ・保育士、養士、護師による相談を随時受け	11人
絵本の貸出し	12月～3月 月～金曜日	地域未就学在 宅親子 地域児童施設 通園児	・絵本の貸出し（貸出 に記 ）	3人
体験保育	毎月 （3月は除く）	0歳児 （9:00～10:30） 1歳児 （10:00～10:40） 2～5歳児 （9:00～11:00）	・同年齢のクラスに入って、園児と一緒に親子で保育体験をする。	1人
にこにこぱーく （地域の異年齢 児との交流事業）	毎月第2木曜	地域未就学在 宅親子	・同年齢のクラスに入って、園児と一緒に遊び月によりお楽しみ会に参加する。 ・9:50分受付 10:00～10:30	8人
郷土文化伝承活動 つき・獅子舞	1月14日	地域未就学在 宅親子	・日本の伝 行事に触れ親しむ ・行事に参加することにより季節感を味わう	14人

4 勤労者の活動・交流の場の提供

(1) 神奈川県立かながわ労働プラザの管理運営事業

ア 設置目的 労働者の 活動、文化活動等の交流の場や労働団体が行う会議、研修等の集会の場を提供することにより、労働者の福祉の向上を図ることを目的として、多目的ホール、会議室等の公の施設部分について、平成18年4月1日より神奈川県から指定管理者の指定を受け、管理運営を行っている。

イ 所在地 横浜市中区寿町1-4

ウ 開設 平成7年10月1日

エ 地面積 2,561.98㎡

オ 建 物 神奈川県行政財産

コクリート造 地下2階 地上9階

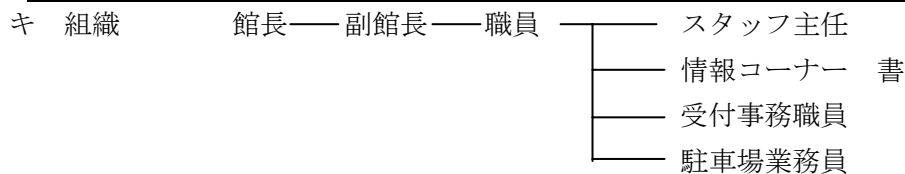
延 面積 13,866.7㎡

内訳 神奈川県立かながわ労働プラザ 3,508.08㎡

機関・団体事務室他 10,358.62㎡

カ 施設の内容（公の施設部分）

9階	第10会議室、特別会議室	196.83 m <sup>2</sup>
8階	第1・第2会議室、トレーニングルーム	446.99 m <sup>2</sup>
4階	第3～第9会議室、和室、幼児室、講師控室	580.34 m <sup>2</sup>
3階	多目的ホール、控室、	501.44 m <sup>2</sup>
1階	施設受付事務室、 ヲラリー、労働情報コーナー	319.76 m <sup>2</sup>
地下1階	第1・第2 楽スタジオ、駐車場	983.02 m <sup>2</sup>
地下2階	機 式駐車場	479.70 m <sup>2</sup>
計		3,508.08 m <sup>2</sup>



ク 利用状況の推移

施設	区分	21年度	22年度 (4.1～11.30)	22年度 (12.1～3.31)	22年度 (通年)
多目的ホール	利用件数	707件 (224)	478件	198件	676件
	利用人数	121,976人 (38,750)	75,301人	32,947人	108,248人
会議室等	利用件数	7,861件 (2,527)	5,451件	2,506件	7,957件
	利用人数	160,501人 (52,293)	109,242人	48,230人	157,472人
ヲラリー・楽スタジオ・トレーニングルーム	利用件数	9,123件 (3,034)	7,254件	2,983件	10,237件
	利用人数	32,833人 (11,252)	24,356人	9,710人	34,066人
労働情報コーナー	利用件数	16,604件 (5,262)	12,089件	4,976件	17,065件
	利用人数	16,604人 (11,342)	12,089人	4,976人	17,065人
合計	利用件数	34,295件 (11,047)	25,272件	10,663件	35,935件
	利用人数	331,914人 (107,557)	220,988人	95,863人	316,851人
駐車場	駐車数	17,818 (5,277)	11,738	4,692	16,430

\* 21年度（ ）内数字は、平成21年12月～平成22年3月末までの実数

ケ 平成22年度自主事業開催状況（.22.12.1～.23.3.31）

講座名	開催日・回数	受講者数
源氏物語講座	12.6.1.10・2回	95人（延155人）
横浜いまむかし講座	12.7～2.16・3回	58人（延114人）
はじめての囲碁入門講座	12.1.12.8・2回	18人（延26人）
アロマテラピー1日体験	3.5・1回	33人（延33人）
平家物語特別講座（加）	3.21・1回	60人（延60人）
合計		264人（延388人）

コ 第5回プラザフェスタの開催

- ・目的 かながわ労働プラザを拠点として活動するサークル・グループ等の成果を発表する場として、また利用者や地域との交流の場として開催する。
  - ・日時 平成23年3月5日(土) 10:00~16:00
  - ・内容 「ものづくり体験教室」特別講演「坂本龍馬といろは丸事件」映画上映会「ねこタクシー」「パソコン体験」「健康づくり体験」「スポーツ吹矢体験」県・団体の事業、県内物産のほか
  - ・入場 延べ 1,253人
- \* 今年度は「体験」をテーマに、ものづくり体験、パソコンでの名作り、スポーツ吹矢など各種講座を開催した。

サ 運営委員会の開催

- ・構成 労働団体・使用者団体、地域団体、利用者代表、行政機関、指定管理者
- ・開催 平成23年3月

回数	開催日	主 な 議 題
第2回	23.3.18	(1) 平成22年度下期運営状況及び自主事業について (2) 利用者からの意見等について (3) その他

シ 図書資料選定等委員会の開催

- ・構成 学識経験者、労働関係団体、行政機関、指定管理者
- ・開催 平成23年1月

回数	開催日	主 な 議 題
第3回	23.1.20	(1) 平成22年度第2回図書購入実の報告 (2) 購入図書資料の選定について(図書169 購入、DVD、4本) (3) 寄 図書資料選定、受け入れについて (4) 除籍について

ス 近隣類似施設との連携(ネットワーク化)

- ・目的 近隣の類似施設とのホームページ相互リンクにより、利用者への貸会議室等の情報を広く提供する。
- ・施設 横浜市技能文化会館、近代文学館、平 記念レストハウス、  
神奈川産業 興センター

セ 施設設備の充実

- ・備品等の購入及び修 等

	整備項目	室名	金額(円)
1	ランニングマシン 加購入(2 )	トレーニングルーム	1,995,000
2	多目的ホール椅子購入(60 )	多目的ホール	995,400
3	会議室用椅子クリーニング	各会議室	500,000
4	和室設備補修工事	和室	499,800

5	ワイレス受信システムリニューアル工事	多目的ホール第3会議室	498,750
6	ワイレスマイク購入	多目的ホール他8本	267,960
7	地下駐車場区画工事(自動、駐場)	駐車場	250,950
8	駐車料金改定工事	駐車場	204,750
9	多目的ホール演 購入(2)	多目的ホール	170,520
10	ワイレスピンマイク購入	多目的ホール他4本	152,880
11	駐車場管制設備点検	駐車場	147,000
12	楽スタジオスピーカースタンド(4)	楽スタンド	90,720
合計			5,773,730

## (2) 川崎市生活文化会館の管理運営事業

ア 設置目的 生活に ぎした文化である技能について、市民の理解を深めるとともに、能職者相互の交流及び技能水準の向上を図り、もって技能を 重する社会の 成及び技能の 興に寄与することを目的とした施設で、平成18年4月1日より川崎市から指定管理者の指定を受け、管理運営を行っている。

イ 所在地 川崎市高 区 口1-6-10  
ウ 開設 平成8年4月1日  
エ 地面積 1,765.91 m<sup>2</sup>  
オ 建物 川崎市行政財産  
コクリート造 5階建 2階  
延 面積 3,752.18 m<sup>2</sup>  
内訳 市民局所管財産 3,367.63 m<sup>2</sup>  
民生局所管財産 318.61 m<sup>2</sup>  
経済局所管財産 65.94 m<sup>2</sup>

### カ 施設の内容

2階	エレベーター機 室	91.64 m <sup>2</sup>
1階	大気観 所	91.64 m <sup>2</sup>
5階	第4・第5研修室、 ・理 容・調理実習室、和室、談話室、キャリアサポートかわさき	718.76 m <sup>2</sup>
4階	会議室、展示場、技連交流室、地名資料室、地名研 所	718.76 m <sup>2</sup>
3階	経済局中小企業 口事務所、高年齢者職業相談室、川崎市 人福祉施設事業協会、福祉パルたかつ、口地域 支援センター、川崎市青少年育成連 、	718.76 m <sup>2</sup>
2階	てくのホール、第3研修室、管理事務室、喫 室「ほっと」	707.19 m <sup>2</sup>
1階	第1・第2研修室、工作・ 実習室、技連研修室	705.43 m <sup>2</sup>
計		3,752.18 m <sup>2</sup>



- ・日時 平成23年2月20日(日) 10:00~16:00
- ・内容 かわさきマイスター、川崎市技連協 下団体による作品展示・体験学習、チャリティバザー、サークル作品展示、県市・団体等の事業 PR、県内物産・障害者製品等の

・入場 延べ 2,850人

\* 昨年に引き続き 地域のりとして、近隣施設や地域団体と協同し同日開催を行い市民や地域との交流を深めた。マイスター23人技連協団体5団体と過去最多の参加をいただき、「エコロジー」をテーマにもものづくり体験やエコキャップ回収やチャリティバザー等を行い、近隣の企業に協 いただき、より広域で年齢層の広い方に来場いただき、過去最高の来場者数となった。

#### サ てくのコンテストの開催

- ・目的 利用者及び市民のみなさんがジャンルにとらわれずに出品し、前を来場者が審査することで、技能についての関心と興味を高め、技能の伝承や交流に寄与する。

・日時 平成23年2月20日(日) 10:00~16:00  
(てくのまつりと同時開催)

- ・内容 ・ちり絵・ し ・編み物・木り・着物着付け・書  
絵

・賞 てくの賞・館長賞を6名に提供

・出品 93作品

#### シ 利用者懇談会の開催

・構成 技能職団体・市民団体、地域団体、利用者代表、指定管理者

・開催 平成23年3月

回数	開催日	主 な 議 題
第2回	23.3.28	(1) 平成22年度事業実施状況について (2) 平成23年度事業計画について (3) 「てくのだより」 8・9 発刊について (4) 「てくのまつり」開催報告について

#### ス 施設設備の充実

・備品等の購入 999 円 (ホール椅子ほかの購入)

・修等 693 円 (工作室 LED 照明)

平成 22 年度事業報告には、「一 社団法人及び一 財団法人に関する法 施行規 」  
第 34 条第 3 項に規定する付 明 書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が  
存在しないので作成していません。

平成 23 年 6 月

公益財団法人 神奈川県労働福祉協会